

## モジュール詳細：進数変換

これは4進数で....こっちは12進数....これは....36進数だと!?

このモジュールは、3個のディスプレイと36進数の数字のキーで構成されている。

3個のディスプレイにはそれぞれ、「何進数から何進数に変換するか」「変換前の数字」「入力した変換後の数字」が表示される。

解除するには変換した数値を正しく入力後に、3個目のディスプレイを押す必要がある。

### 解除の順序

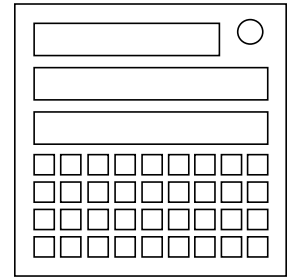
2個目のディスプレイを1番目の数\*の進数として10進数へ変換する。

変換した値を2番目の数\*\*の進数に変換する。

変換結果を入力する。

3個目のディスプレイを押す。

変換方法は付録：10進数への変換と付録：n進数への変換を参照する。



---

\*1番目の数：1個目のディスプレイに表示される左側の値

\*\*2番目の数：1個目のディスプレイに表示される右側の値

付録：10進数への変換

どんな進数を使っている、みんな僕たちは10進数を使ってるって言うんだ

変換手順

各値を右表の10進数に変換する必要がある。

計算式「n桁目の値 × 進数<sup>(桁数 - n)</sup>」。

この操作をすべての桁に行い、その和が10進数での値である。

注意

- 指数が0の場合、底に関係なく1となる。
- モジュールを解析した結果、表示される値はulongの範囲\*であることが分かった。

\*ulongの範囲：C#の数値型の1個。0 ~ 4294967295

0	00	I	18
1	01	J	19
2	02	K	20
3	03	L	21
4	04	M	22
5	05	N	23
6	06	O	24
7	07	P	25
8	08	Q	26
9	09	R	27
A	10	S	28
B	11	T	29
C	12	U	30
D	13	V	31
E	14	W	32
F	15	X	33
G	16	Y	34
H	17	Z	35

付録：n進数への変換

世界は広い。2進数とか12進数、16進数は身近にある。なら他の進数もきっとある

変換手順

変換する進数で値を割る必要がある。

計算式「値 ÷ 進数」

この操作を割れなくなるまで行う。

余りを逆順\*で右表で変換した結果が、その進数での値である。

注意

- 割り算をする際、余りを出す必要がある。
- 割れなくなるまで繰り返した結果の値も余りとする。

\*逆順：123ならば、321となる

0	00	I	18
1	01	J	19
2	02	K	20
3	03	L	21
4	04	M	22
5	05	N	23
6	06	O	24
7	07	P	25
8	08	Q	26
9	09	R	27
A	10	S	28
B	11	T	29
C	12	U	30
D	13	V	31
E	14	W	32
F	15	X	33
G	16	Y	34
H	17	Z	35